

(別記) (公表様式1)

新潟県福祉サービス第三者評価結果公表基準

1 第三者評価機関名

一般社団法人 新潟県経営支援センター

2 受審施設・事業所

(1) 施設・事業所情報

(評価結果確定日現在)

名称： 千手さくら保育園	種別：保育園 (保育所型認定こども園)
代表者氏名： 園長 尾身 優子	定員：55 (利用人数) 59名
所在地：〒948-0134 新潟県十日町市上新井 87-3	
連絡先電話番号： 025 - 768 - 2148	FAX番号： 025 - 768 - 4852
ホームページアドレス	<a href="https://matsudaifukushikai.webes.jp/senju/">https://matsudaifukushikai.webes.jp/senju/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：令和 2年4月1日	
経営法人・設置主体(法人名等)：社会福祉法人 松代福祉会	
職員数	常勤職員：17名 非常勤職員：6名
専門職員	(保育士・幼稚園教諭) 14名 (管理員) 1名
	(保育士) 5名 (管理栄養士) 2園兼務 1名
	(保育助手) 0名 (調理員) 外部委託
施設・設備の概要	(保育室) 4室 (園児用トイレ) 2カ所
	(乳児室) 2室 (遊戯室ステージ付き) 1室
	(ほふく室) 1室 (乾燥室) 2室
	(事務室) 1室 (医務室) 1室
	(会議室) 1室 (調理室) 1室
	(教材室) 1室 (職員休憩室) 1室
	(倉庫) 1室 (遊具室) 1室

(2) 理念・基本方針

保育理念

子ども一人ひとりを大切にし、保護者や地域から信頼される保育園をめざす

保育目標

『友だちとの生活をとおして、自分らしさを育み、いきいきと遊べる子ども』

めざす子ども像

- ・元気な子ども : 自分の好きな遊びを見つけて元気に遊ぶ
- ・心豊かな子ども : さまざまな遊びや体験の中で、感動したり  
発見を楽しんだりする
- ・考える子ども : いろいろなことに興味や関心をもち、工夫して遊ぶ

### 3 評価結果

#### (1) 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年7月1日（契約日）～ 令和7年3月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

#### (2) 総評

##### ◆特に評価の高い点

##### ○「一人ひとりを大切に」した、幅広い保育の実践と子育て支援

運動機能やリズム感、協調性など大きな育ちに繋がるリトミック保育は、子どもたちがとても生き活きと楽しんでおり、変化する子ども達の様子に合わせて改善しながら継続している。その姿を運動会で見てもらい、子どもの育ちとその喜びを保護者と共有している。

他にも栄養士が中心となった食育活動では、よもぎ団子やちまき作り、子ども達が毎日、自主的に学べる工夫のある三色食品表の設置、楽しみながら身につく箸の持ち方指導など幅広く展開している。何より栄養士が毎日子ども達と給食を食べ、子ども達の声を聴いていることが活動の深さに現れており、保護者からの反響も高い。

職員はもちろん園長も毎日玄関に立ち、直接保護者とコミュニケーションを取りながら子ども達や園のことを伝えることで日頃から気楽に話がしやすい雰囲気づくりを行い、気になる保護者がいた時にすぐに相談できる体制を整えている。

保育も子育て支援も理念である「一人ひとりを大切に」という強い思いが感じられる。

##### ○地域とともに「住みつづけられるまちづくり」を目指した活動

園が十日町市の一員であること、そして子ども達が町に出ることが活性化と捉え、園内にとどめず積極的に地域との交流を実践している。具体的には、地域のいちご狩りや豆もぎに参加、市バスを利用した園外保育、近隣施設との交流等の社会体験活動から「お散歩マップ」を作成し、子ども達が地域に興味を持ち、その中で生活していることの喜びが感じられることを保育のSDGs活動「住みつづけられるまちづくり」へと展開している。また、避難所としてしての場所提供、園庭やグラウンドの開放など、園の知識や機能を伝え、地域に必要とされ、愛される園づくりを目指している。

##### ○働きやすさ

有給休暇の取りやすさや充実した福利厚生など、働きやすい園であることが分かった。法人が中心となり、十日町子育てプランを始めとする地域の情報収集と分析を行いながら、人材確保やキャリアアップ研修の受講、異動調査アンケートを反映させた配置転換など、職員が長く働くための工夫もなされており、園との連携も強い。

◆今後の取り組みが望まれる点

○施設環境の整備

施設の老朽化がみられる中、民営化後は法人の理解のもと、トイレのバリアフリー化や手摺の設置など、安全で過ごしやすい環境整備を行ってきている。今後は玄関前の階段のスロープ設置や園舎前のプールの修繕が求められる。現在スロープを必要とする園児は在園していないが、いつでも誰が来ても利用できることが重要であるため、整備の検討が望ましい。

園庭と外部の境目に柵が必要と思われる。ルールが決められ、子ども達も理解しているとは言え、外部からの侵入や不慮の事故も想定しての対応は必要と思われる。

○地域への発信

保育活動において地域との積極的な連携は確認できたが、園のパフレットが公共施設等に設置されていない。地域の誰もが入手し見れることが園の存在だけでなく、機能や役割を知ってもらうためのきっかけとなり、深く地域に根付いた園になるための一歩と考えると改善が求められる。

○経営課題に向けた取り組み

経営・事業・サービスなど、法人が中心となって園と連携しながら順調に進めており、地域の状況も把握・分析のもと適切な人材確保も行っているが、市全体の子ども数が減少し続けている中で、いかに他園との差別化を図っていくかが今後の大きな課題である。現在は食育、リトミック、SDGsなど保育の柱が確立されており、保護者からの大きな反響を得ているので、選ばれる園になるために今後もサービスの質や保育内容を法人・園全体で見直していくことを期待する。

(3) 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

(R 7.3.3)

民営化5年目の今年、初めて第三者評価を受審させていただきました。当園が5年間積み上げてきた保育を客観的な視点から見ていただき、「一人ひとりを大切に」の理念に基づいた様々な取り組み、活動を振り返る良い機会となりました。

受審を通して、職員一人ひとりが自分たちの目指す保育がしっかり見えていること、保育の内容を保護者や地域に積極的に発信していくことが重要だということを再確認することができました。

また、地域との連携、園の存在や役割、機能を多くの方に知ってもらうための取り組みが足りないという課題が見え、今後の保育園運営に活かしていきたいと思えます。

今回の評価結果を職員はもとより、保護者に確認していただき、今後も保護者の

皆さんの力をお借りしながら、保育の質の向上に努めていきたいと考えています。

園長 尾身 優子

(R . . )

////////////////////////////////////  
(R . . )

(4) 評価細目の第三者評価結果 (別添：公表様式2のとおり)

---

**【参考情報】 施設・事業所の取組 (事業者記載欄)**

(福祉人材育成の取組、サービスの質の向上に向けた取組など)

# 評価細目の第三者評価結果

## 【 保育所版 】

### 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-1(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
評価細目	評価結果	コメント
1	a	I-1-1(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 法人、園共に理念、基本方針が明文化されている。職員会議にてグランドデザインを確定し、4月の保護者総会にも具体的にわかりやすく伝えることができている。 こどもや障害のある保護者に対しては、送り迎えの時やノートの活用など個別に対応している。

#### I-2 経営状況の把握

I-2-1(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
評価細目	評価結果	コメント
2	a	I-2-1(1)-① 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 法人と共に十日町市子育てプランにおいて、今後のニーズを把握しており、園児の確保にも役立てている。法人と園で連携しながら、子どもの減少について経営分析されている。また、外部による財務分析、法人での収支確認も行いながら把握している。月1回の運営会議の内容を職員に会議及び資料の回覧などで周知している。
3	b	I-2-1(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 経営課題への解決・改善に向けての取組は行っているが、十分ではない。

#### I-3 事業計画の策定

I-3-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
評価細目	評価結果	コメント
4	a	I-3-1(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 経営及び保育共に中・長期計画は策定されており、年度末の見直しによる改訂や共有も行われ、随時見直されている。保育においても「人権を尊重した質の高いサービスを実施する」と明言し、実践されている。
5	a	I-3-1(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 単年度の計画は、中・長期を踏まえたものになっている事を確認できた。
I-3-1(2) 事業計画が適切に策定されている。		
評価細目	評価結果	コメント
6	b	I-3-1(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 毎年度末に評価見直しが行われ、次年度の事業計画が策定されている。しかし、職員の参画が十分ではなく、今後の課題と思われる。
7	a	I-3-1(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 今年度の事業計画は行事計画のみでなく、具体的な内容で策定されており、保護者には周知・説明が年度当初に実践され、理解を得ている。

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-1(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
8	b	I-4-1(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 保育を始め、園の業務全般を独自のPDCAサイクルので策定し、園全体で取り組んでいる。保育サービスの質の向上のために職員を主体とした検討組織を立ち上げ、課題着手に向けた計画運営を行っている。
9	a	I-4-1(1)-② 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 自己評価が行われていないため、今後の実施に向けた取り組みが望まれる。今回が初の第三者評価受審である。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

Ⅱ-1-1(1) 管理者の責任が明確にされている。		
評価細目	評価結果	コメント
10 Ⅱ-1-1(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	強い信念と情熱を持ち、それをグランドデザインや園だよりで文書化し、職員や保護者に表明している。また、災害時の対応もマニュアル化し、園長はもちろん、不在時の権限も記すことで役割を明確化している。
11 Ⅱ-1-1(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	毎年度始めにコンプライアンス研修に参加。日々入ってくる情報を職員と共有するように心がけている。引き続き、様々な関係法令等の理解を深め、職員と共有されることを望みたい。
Ⅱ-1-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
評価細目	評価結果	コメント
12 Ⅱ-1-1(2)-① 保育の質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a	子ども園移行後は、園長の思いが伝わりにくい状況であったが、送迎時の玄関対応や各年齢の保育に出向くことで、保護者の信頼を得ることができた。職員には、園内研修の充実を図り、自分の考えを伝え、職員が意見を出しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
13 Ⅱ-1-1(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	経営面での改善(人事・労務・財務など)は法人との連携をとりながら取り組みを行い、園内は職員が休みをとりやすい環境を整え、働きやすい職場づくりを園長として力を発揮している。

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

Ⅱ-2-1(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
評価細目	評価結果	コメント
14 Ⅱ-2-1(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	年度ごとの園児数や地域のニーズを把握しながら法人が中心となり人材確保や育成の方針を立てている。具体的には、キャリアアップ研修を通しての職員育成、職員の意向調査や目標設定シート、ヒアリングなどを通しての人事配置および人事考課への反映を行っている。全体の計画の中に「期待する職員像」を示し、周知・意識づけを行う人事マネジメントも行っている。
15 Ⅱ-2-1(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b	新規採用は行っていない。園児数の減少による、職員数の削減が必要になることは理解できるが、若い職員の採用は必要と考える。法人内での異動も可能であると思うので、新卒までとはいかなくとも若い保育士の採用を検討してもらいたい。
Ⅱ-2-1(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
評価細目	評価結果	コメント
16 Ⅱ-2-1(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	法人及び園として、働きやすい環境づくりの取り組みがなされ職員一人ひとりの意向も調査票を参考に反映され、メンタルヘルスの相談窓口やカウンセラーの配置もある。また、職員が生き生きと働けるような福利厚生がなされている。
Ⅱ-2-1(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
評価細目	評価結果	コメント
17 Ⅱ-2-1(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	a	期待する職員像を全体的な計画内に記載することで一人ひとりの意識づけを行い、個々の目標管理シートを活用しながら職員の育成に取り組んでいる。また、その状況を年2回の面接で個別に確認している。
18 Ⅱ-2-1(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	定期的にアンケートを実施し、それを基に研修内容などの見直しを行い、反映させながら計画・実施している。
19 Ⅱ-2-1(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	a	保育の基本的な手順書を作成し、それを活用した職員研修を実施しており、OJTとしても日々行っているため、今後はその実施記録を残すことが望ましい。

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
20 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	実習生受け入れの体制を整備し、学校や学生の意向を確認しながら取組を行っているが、指導者への研修やプログラムがないため、その点を改善することが求められる。

### II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
21 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	ホームページでの理念や方針の掲載や広報の発行などで法人および園の情報を積極的に発信しているが、第三者評価については初受審となるため、今後の公表となる。
22 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	職務分掌を通して職員に向けて責任や権限を周知したり、監事による内部監査・外部による監査での経営改善の実施など、経営や運営のための様々な取組がなされている。

### II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
評価細目	評価結果	コメント
23 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	地域と積極的且つ多様な交流をはかり、子どもたちの社会性を育てている。また、子どもたちと地域のMAPを作り、「住み続けられるまちづくり」をテーマにしたSDGs活動を実践しているが、社会資源をより利用できるよう、地域の情報を収集することが望ましい。
24 II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	ボランティアの受け入れは行っているが、地域の学校等への協力についての姿勢が明文化されていない。ボランティアに向けた研修および育成の計画がなされていない。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
評価細目	評価結果	コメント
25 II-4-(2)-① 福祉施設・事業所保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	園児のみでなく、家庭での状況についても、温かく見守る中で関係機関・団体と定期的に連携を取り、迅速に対応されている。職員間でも情報の共有がなされ周知されている。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
評価細目	評価結果	コメント
26 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b	小学校の運営委員会への参加や民生委員との情報交換で地域の状況やニーズの把握に努めているが、地域に定期的な会が無いため、月1の園開放を行い保護者の育児相談を実施している。しかし、その記録がない。今後はその記録をとることが必要と思われる。
27 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	地域貢献に関しては育児・食育相談、古着のバザー等の実施で地域に喜ばれている。また、老健、作業所とも交流し、災害時には避難所となり住民の安全・安心のための支援体制を整えている。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
評価細目	評価結果	コメント	
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。	a	本年度の重点目標を「人権を尊重した質の高いサービスを提供する」とし、マニュアルの整備と共に具体的な項目を作成し取り組んでいる。 保育の基本手順についても文書化されており、勉強会等も実践されている。他にも園における人権擁護等に関するチェックリストで職員が理解し実践するための取り組みとして活用している。子どもたちに対しても職員劇等でわかりやすいように工夫して伝えている。
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
評価細目	評価結果	コメント	
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所の選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	ホームページや入園のしおりも用意され、見学や利用希望者への説明も丁寧に対応している。保護者の意向にも配慮し、話し合いや引き継ぎ等を行っている。卒園後も園児や保護者に対しての相談を繋いでいる。 今後は、園の理念や基本方針、保育内容等を記載した資料を公共施設などの誰もが入手しやすい場所への設置、配慮が必要な保護者への説明をルール化、保育の継続性に配慮した手順があるとより一層、園への理解が深まる。
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更に当たり保護者等にわかりやすく説明している。	b	
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所の変更に当たり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
評価細目	評価結果	コメント	
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	利用者満足のアンケートを年1回実施し(12月に集計)保護者に伝え、保護者懇談会も年2回実施されている。また、結果に基づき、具体的な改善も行われている。
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
評価細目	評価結果	コメント	
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	苦情解決の仕組みについては掲示されると共に新年度初めに保護者等に配布・説明されており、保育の質の向上にかかわる取組が行われている。今後は保護者が相談したい時や意見を述べたい時に、方法や相手を選択できることを説明した文章があることを周知できると良い。
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	

Ⅲ-1-(5) 安全・安心な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
37	Ⅲ-1-(5)-① 安全・安心な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a リスクマネジメントに関する委員会や衛生管理マニュアルの整備等、法人と共に体制が出来ており、安全計画と共に、職員に周知し月1回、定期的に評価見直しを行っている。
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a 今年度のモデル事業として、テーマ「園児が元気で過ごすために」～感染症が広がらない保育園づくり～として手洗いの強化を進めている。保護者協力のもと、うがい・手洗いの実践がなされている。職員周知のほか年2回(9, 12月)に定期的な見直しを実施。
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b 災害時の対応体制が明文化され、日頃の訓練や研修の参加、食料や備品の備蓄はされているがリストを作成することが望ましい。安心安全のための取組が行われており、地域の消防署などとも連携を図っている。地域や周辺施設との防災訓練等の積極的な参加も求められる。
40	Ⅲ-1-(5)-④ 緊急時(事故、感染症の発生時など)に、迅速な対応ができる仕組みがある。	a 事故の発生に備えたマニュアルの整備や職員研修は行われている。今後は最悪事態も想定した、より具体的なマニュアルの見直しが必要。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
評価細目	評価結果	コメント
41	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a オムツ換えの手順や言葉がけなど、保育の標準的な実施方法を年齢別の日課表に記載し、職員にも周知され実践している。また、それらは定期的に見直しを行い、保育に反映されている。今後はプライバシー保護についても姿勢が明示されると尚良い。
42	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
評価細目	評価結果	コメント
43	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントに基づく指導計画を適切に作成している。	a 指導計画は四期ごとに振り返り、3月に見直しを行っている。入園前の健康調査などで個別に状況を把握し、職員間で共有しながら、保育を行っている。定期的な評価見直しについても保護者のニーズ等に対する保育・支援が次の指導計画に活かされている。
44	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
評価細目	評価結果	コメント
45	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a 子どもの発達や生活状況は会議やファイリングされた記録などで管理され、共有しながら保育を行っている。記録の記入方法も職員に指導を行っている。 また、子どもの個人情報規定に基づき適切に管理され、園長の責任のもと、職員は誓約書を記入し、漏洩や流出が無いようにしている。保護者にもその取り扱いについては説明を行っている。
46	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a

評価対象Ⅳ 福祉サービス内容

A-1 保育内容

A-1-1 全体的な計画の作成		
評価細目	評価結果	コメント
A①	a	A-1-1-1 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。
A-1-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
評価細目	評価結果	コメント
A②	a	A-1-2-1 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。
A③	a	A-1-2-2 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。
A④	a	A-1-2-3 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。
A⑤	a	A-1-2-4 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。
A⑥	a	A-1-2-5 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
A⑦	a	A-1-2-6 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
A⑧	a	A-1-2-7 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
A⑨	b	A-1-2-8 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
A⑩	a	A-1-2-9 それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
A⑪	a	A-1-2-10 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

A-1-(3) 健康管理			
評価細目	評価結果	コメント	
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	学校保健計画に基づいて一人ひとりの健康管理を適切に行っている。けがや体調不良時の対応も策定しており、保護者への対応も適切に対応している。また、入園時には健康やSIDSの情報を配布し、呼吸チェックもチェック表をもとに管理しながら実施している。
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	健康診断および歯科検診の結果は適切に管理されると共に保護者にも書面で伝えている。
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	アレルギー対応についてはガイドラインをもとに、保護者と連携しながら個々に合った対応を行っている。
A-1-(4) 食事			
評価細目	評価結果	コメント	
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	よもぎ団子やちまき作り、焼き芋、畑で野菜を育てる体験などを積極的に行っている。園舎前にも畑があり、登降園時に親子で観察して会話ができるきっかけ作りにもなっている。
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	幼児の保育室には栄養士が作成した三食表を掲示し、その日の給食食材の分類を年齢に合わせて行い、子どもたちが学びながら楽しめる工夫がある。栄養士が自ら毎日子どもたちと一緒に給食を食べ、会話から得たことを活動やメニューへの反映、箸の持ち方の指導、保護者へのレシピ提供など、保育と食育が密接となっており、保護者からも好評を得ている。

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
評価細目	評価結果	コメント	
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	毎日の送迎時を中心に、日常的に情報交換を行っている。子どもの様子だけでなく、保育の意図や内容も伝え、保護者理解に繋げている。必要な場合は面談も積極的に行い、確実に記録に残している。
A-2-(2) 保護者等の支援			
評価細目	評価結果	コメント	
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	担任だけでなく、園長も毎日玄関に立ち、保護者とのコミュニケーションを行っており、気軽に相談まで繋がられるような雰囲気作りを行っている。また、保護者の様子を敏感に感じ取り、予防的支援も行っている。相談を行った際は記録を取り、共有できるようにしている。
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	虐待の兆候が見られた場合は、速やかに写真や書面で記録をとり、並行して関係機関とも連携をはかっている。毎年必ず職員が研修に参加し、必要な知識を得ている。

## A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
評価細目	評価結果	コメント	
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	年2回(10月、3月)に自己評価を行い、その結果を分析し、園としての集計をしながら質の向上に向けて次の保育に反映させている。